

2015年1月26日

トヨタ車体 独身寮自治会 20年間継続して、特別養護老人ホームへ車いすを寄贈

トヨタ車体株式会社（本社：愛知県刈谷市一里山町 取締役社長：岩瀬隆広）の独身寮である新林寮の自治会は、1月24日（土）、特別養護老人ホーム「洲原ほ一む」（愛知県刈谷市井ヶ谷町）へ5台の車いすと色鉛筆、色紙を寄贈しました。この活動は、20年目となり、今回で車いすの累計寄贈台数は67台になりました。

この車いすは、日ごろから洲原ホームに出向き、車いすの清掃ボランティア活動を行っている約800名の新林寮生が、ささやかでも継続できる社会貢献活動を目的に集めている基金（約36万円）から購入したものです。洲原ほ一むでは、入所者の約8割の方が車いすを利用されているため、大変重宝されています。

洲原ほ一むで行われた寄贈式では、寮自治会役員や入所者など計40名が出席。新林寮自治会長の丹治康介から「入所者の皆さんが快適な移動をすることができるよう、今後も車いすの寄贈と清掃を継続していきます。皆さんの笑顔が励みになり、元気をいただいています」とあいさつをしました。

また、入所者の方からは「毎年寄贈していただき、感謝の気持ちでいっぱいです。新しい車いすに乗ると気分が明るくなります」とコメントをいただき、施設代表者の大野幸浩様からも「20年間継続して、車いすの清掃と寄贈をしていただき、大変感謝しています」との言葉をいただきました。

トヨタ車体および寮自治会は、今後も地域とのふれあいを大切に、快適で素敵な暮らしをサポートしてまいります。

以上



寄贈式典であいさつをされる施設代表